

様式第2号（第9条関係）

会議録

会議の名称	令和5年度第1回ふじみ野市スポーツ推進審議会			
開催日時	令和5年8月18日（金） 開会時刻 午後5時00分 閉会時刻 午後7時45分			
開催場所	ふじみ野市役所本庁舎A301会議室			
出席した者の氏名	役職名	氏名	役職名	氏名
	会長	森 浩寿	委員	竹林 康彦
	副会長	風間 清武	委員	平澤 奈古
	委員	一柳由紀子	委員	渡部 美和
	委員	篠島 幹昌	委員	本川 秀知
	委員	工藤 陽介	委員	瀬野 善助
	委員	杉本 佳久		
会議の議題	(1) 令和5年度スポーツ推進審議会のスケジュールについて (2) 令和4年度スポーツ推進事業実績について (3) 令和5年度の主な取組みについて (4) 令和5年度スポーツ活動地域支援事業について			
会議の公開又は非公開の別	公開			
会議の非公開の理由				
傍聴人の数	0人			
会議の内容	別紙のとおり			
会議資料	資料1 令和5年度スポーツ推進審議会のスケジュール 資料2 令和4年度スポーツ推進事業実績 資料3 令和5年度の主な取組みについて 資料4 令和5年度スポーツ活動地域支援事業について			
事務局	市民活動推進部 文化・スポーツ振興課			
議事の確定	確定年月日	令和5年 月 日		
	記名押印 又は署名	スポーツ推進審議会 会長 <span style="float: right;">㊟</span> ※自署の場合は、押印不要です。		

別紙

(会議の経過)

発言者	議 題 ・ 発 言 の 要 旨 ・ 決 定 事 項
	<p>1 開会</p> <p>2 委嘱</p> <p>3 あいさつ</p> <p>4 議事</p>
森会長	<p>議題1「令和5年度スポーツ推進審議会のスケジュールについて」事務局より説明をお願いします。</p>
事務局	<p>&lt;事務局説明&gt;</p>
森会長	<p>ただいまの説明に対して質疑はありますか。</p> <p>&lt;一同、質疑なし&gt;</p>
森会長	<p>議題2「令和4年度スポーツ推進事業実績について」事務局より説明をお願いします。</p>
事務局	<p>&lt;事務局説明&gt;</p>
森会長	<p>ただいまの説明に対して質疑はありますか。</p>
一柳委員	<p>シニア元気塾についてどれくらいの参加があったのでしょうか。</p>
事務局	<p>延べ200人ほどで、定員がすぐ埋まってしまうほど人気の事業となっています。</p>
篠島委員	<p>ふじみ野ふあいぶるクラブでは、大井中学校で越谷アルファーズのコーチに協力いただいて男子バスケットボール部への支援を行いました。バスケットボールの技術だけでなく、練習への取り組み方やチームビルディングに重きを置いた支援を行っていただきました。令和5年度も継続していく予定です。</p>
森会長	<p>ふじみ野ふあいぶるクラブの活動ということでよかったですか。</p>
篠島委員	<p>市からの委託事業の一環として実施しています。</p>
森会長	<p>健康運転体力測定について、何かフォローアップまで行っているのでしょうか。</p>
事務局	<p>体力測定後、健康運動指導士からトレーニング室の器具を使用して運動のアドバイスをしています。</p>
森会長	<p>コロナ禍でスポーツをすることも減ってきているといわれていますが、スポーツ少年団の登録者数の推移はどのようになっていますか。</p>
事務局	<p>コロナ禍に関わらず、登録者数は減少傾向が続いています。ただ</p>

発言者	議 題 ・ 発 言 の 要 旨 ・ 決 定 事 項
森会長	し、令和4年4月1日現在の登録者数で数字をとってしまっている るので、必ずしも良い数字の取り方ではないと考えています。今 後、統計の取り方等を含め検討していきます。
事務局	分母自体が減っているの、登録者数が減るのは当然だと思いま す。加入率等の数字で統計をとるのも一案と考えます。
一柳委員	大会に出るために登録をするなど、学年で登録するしないを分け てしまっている事情もあります。
篠島委員	団体によっては、未就学児から募集をかけているところもありま す。また、スポーツ少年団に登録をしない団体も増えてきていま す。
一柳委員	単一競技よりもマルチにスポーツをやっていくような流れになっ てきています。
事務局	スポーツ少年団に登録をしない団体の統計は取っているのでしょ うか。
事務局	スポーツ協会に加盟している団体であれば統計を取ることはでき ますが、それ以外の地域スポーツ団体については、統計として集 めることは難しいです。情報の集め方についても検討していきま す。
本川委員	入間東部地区内の中学校の部活動でも、1校だけでチームを作る ことができず、合同して大会に出場している競技もあります。
森会長	また、学校でも、部活動以外の活動については、申し出等がない 限り、把握できないのが実情です。
森会長	競技同士がこどもたちを取り合っている状態です。篠島 委員のおっしゃる通り、年間通じて1つの競技に取り組む時代 ではないと思います。このままでは、やる部活動、団体がなくな ってしまう可能性もあります。
篠島委員	特に女子のスポーツ団体が減ってきてしまっています。
一柳委員	スポーツ少年団への補助金の額の推移、また、スポーツ協会との 金額差を教えてください。
事務局	補助金額については、昨年度と同額です。金額については、スポ ーツ協会会員数、スポーツ少年団の登録者数で1人当たりの金額 が合うように金額設定しています。
風間副会長	最近では、団体に属さない個人で活動をする人が増えてきていま す。団体もこれまでの枠組みからある程度まとまるなどしてい かないと立ち行かなくなることも想定されます。
渡部委員	市長へ表敬訪問をしてから、自分自身のこと、テコンドーのこ とを知ってもらえることができ、うれしく思いました。コロナを

発言者	議 題 ・ 発 言 の 要 旨 ・ 決 定 事 項
森会長	<p>経て、一緒に練習をしていた仲間も競技をやめてしまったりして、練習の質もですが、切磋琢磨しあう仲間の存在もスポーツをする上では大事だと感じました。</p> <p>これまでの枠組みからの脱却という意味では、合同部活動も1つの例です。部活動に限らず、地域のスポーツクラブでも今後起こりうることです。</p>
森会長	<p>議題3「令和5年度の主な取組について」事務局より説明をお願いします。</p> <p>&lt;事務局説明&gt;</p>
篠島委員	<p>まぜこぜ運動会、まぜこぜ運動クラブを令和5年度から新規事業としてスタートしました。令和4年度の計画策定の中でも議論のあった障がいの有無、国籍、性別等問わず誰もが一緒に運動できる場づくりとしてスタートしています。令和5年6月24日にキックオフイベントとして「まぜこぜ運動会」を工藤委員、平澤委員と東京2020パラリンピックボート競技に出場した八尾陽夏さんとともに企画・運営を行い実施することができました。定期活動としては「まぜこぜ運動クラブ」を7月よりスタートしました。参加者がまだ伸びていませんが、これからこの活動を徐々に広められたらと考えています。</p>
工藤委員	<p>こどもたちに身体を動かしたり、道具を使ったりすることを楽しんでもらいたいという思いで取り組んでいます。この事業を通して、様々な人が少しでも運動に取り組むきっかけになるとともに、障がいや国籍、LGBTQなどの理解促進にもつながればと思います。</p>
平澤委員	<p>審議会場でこれまで「障がい者のスポーツイベント」と括られていたことに対して意見を述べてきましたが、1つの形として、まぜこぜ運動会、まぜこぜ運動クラブを実施できたことを感慨深く思います。まぜこぜ運動会の際に参加していたスタッフの人から、「障がいのある人は分けてスポーツをしないといけないと思っていた。」とおっしゃってくださり、ルール等を工夫することで一緒に運動や遊ぶこともできるという意識づけをこどもたちはもちろんのこと保護者や関わっていただいた大人たちにも気が付いていただいたのではないかと思います。今現在のまぜこぜ運動クラブでは、個人で運動や遊びを楽しんでいます。将来的に、できないことに対して、こどもたち同士で教えあったりできるようになるとよいのではないかと思います。</p>
森会長	<p>まぜこぜ運動クラブは申込制でしょうか。</p>

発言者	議 題 ・ 発 言 の 要 旨 ・ 決 定 事 項
事務局	申込制となっておりますが、定員に余裕がある場合は当日受付も行っていきます。また、取材も多く受けており、市外の人からの問い合わせもあるため、市外からの参加者も受け付けています。
森会長	実施内容は毎回違うのでしょうか。
工藤委員	毎回内容を変えて実施しています。
事務局	時間がかかったとしても、みんなが最後までやり遂げるとというのがこの事業の素晴らしい点だと思っています。
篠島委員	受付時には、あえて障がいの有無や国籍等はヒアリングしていませんが、保護者には気になる点、配慮すべき点等があればということで話を伺っています。
一柳委員	周知は、どういったところに行っているのでしょうか。
事務局	市報で広く周知しているとともに、障がい福祉課や児童発育・発達支援センター等と連携して周知を行っています。
杉本委員	今現在は、こどもを対象にしていますが、将来的には拡大する予定はありますか。また、目に見えない障がい等がある人もいて、対応が難しいケースも出てくると思いますが、そういった場合はどのように対応していくか検討はしていますか。
事務局	まず、第1段階として、年齢を絞った形で、事業を実施しました。将来的には、年齢を拡大できればと考えております。
工藤委員	誰でもをコンセプトにしているので、特性等問わず、かつ、少人数で実施しています。また、パニックにならないような雰囲気作り方、気配り、目配りをしています。万が一何か起きた場合は、私を含めたまわりの人たちで対応をします。
事務局	今後、社会福祉士や精神保健福祉士を目指す文京学院大学の学生との連携を検討しているところです。また、市の障がい福祉課や児童発育・発達支援センターの職員とも連携を取りながら事業の実施をしてまいります。
杉本委員	今後、デイケアサービス事業所等との連携にも期待しています。
森会長	現状、スタッフはどのくらいの方がいますか。学生のスタッフ集めはなかなか難しくなっています。
工藤委員	6～10人ほどで運営しています。
事務局	学生であっても、無償では考えておらず、何かしらの報奨をお渡しする予定です。
森会長	ラジオ体操事業は間があいてしまっていたのでしょうか。
事務局	平成27年度に元気・健康都市宣言をして以降、毎年実施をしている状況です。また、文化・スポーツ振興課の職員、スポーツ推

発 言 者	議 題 ・ 発 言 の 要 旨 ・ 決 定 事 項
森会長	<p>進委員は、ラジオ体操指導員の資格を有しており、地域のラジオ体操の指導等を行っているところです。7月には東原小学校で夏季巡回ラジオ体操を実施することができました。</p> <p>議題4「令和5年度スポーツ活動地域支援事業について」事務局より説明をお願いします。</p> <p>&lt;事務局説明&gt;</p>
杉本委員	平澤委員のアーチェリー、渡部委員のテコンドーをアンケートの項目の1つとしてぜひ入れてもらいたい。
事務局	両種目を入れてアンケートを実施します。
杉本委員	種目の選定について、選ばれなかった人たちのフォローはどのようにする予定ですか。
事務局	アンケート結果については単年度ではなく、参考として継続使用する予定です。また、指定管理者の事業等への活用も検討しているところです。
風間副会長	6月に県西部地区のスポーツ協会の会議に事務局と出席したが、どの市町村も取組が進んでいないのが実情です。
森会長	体験に重きを置くならば、マイナースポーツがもう少し入っていてもよいのではと思います。スキルアップであると学校との調整が難しくなってくるのではないかと思います。
本川委員	スキルアップというよりも、体験の場の方が地域への広がりという意味では良いのではと思います。
渡部委員	小中学生は、新しい競技に挑戦するには良いタイミングだと思います。様々な競技に触れる機会という点でよい事業になるのではないかと思います。
本川委員	ダンスを筆頭に、学校外の活動で活躍している生徒が増えてきています。部活動+ダンスなど活動の仕方も多様化しています。
森会長	部活動の地域移行は、埼玉県でもモデル事業を実施するにとどまりなかなか進んでいないのが現状です。しかし、中体連の大会にクラブチームが参加できるようになるなど変化が起き始めているところもあります。生徒が課外活動で文化・スポーツ活動をやらなくなってしまうのが1番の問題なので、まずはできるところからやっていくということが大事ではないかと思います。
	5 閉会